

<p>学校生活全般</p>	<p>・良い事はしっかりと一人一人に伝えてくれて悪いことは悪いとしっかりと子供に伝えてくれてるのでありがたく思っています。</p> <p>・大変お世話になっております。毎日元気いっぱいの笑顔で学校へ通い、楽しかったー！！と帰ってきております。たくさんの先生方からあたたかく見守っていただいているおかげだと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。</p> <p>・何かに挑戦しようとするこも増え、日々成長を感じています。先生方、周りの方のおかげだと思っています。ありがとうございます。</p> <p>◇ 教職員の励みになる温かい言葉をいただき、たいへんありがとうございます。曾根小学校の子どもたちの健やかな成長のために、今後も教職員が一丸となり、教育活動に取り組んでまいります。ともに子どもを育てるパートナーとして、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>こころの教育 生徒指導</p>	<p>・個人的な性格なことですが、少々内気なせい自発的に意見を言うことや積極性が少ない面があります。元気に積極的に楽しく学校生活を送れるよう今後ご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。</p> <p>◇ 学校では、すべての子どもが、安心・安全に楽しく過ごせるように努めています。また、自己肯定感や自己有用感の向上が、積極性につながることもあります。様々な教育活動を通して、子どもたちの自己肯定感・自己有用感を高められるようにしていきます。</p> <p>・子供達の自己肯定感を高めるような教育を進めて欲しい。小さくても成功体験を積めるような機会が学校でも多くあると良いと思う。</p> <p>◇ 学校では、様々な機会を子どもたちの自己肯定感を高められるよう進めています。授業、学校行事、たわわり活動などで、教師や友だちから認められたり、称賛されたりする機会を設けています。また、ふりかえりの機会を設定し、自己の成長を実感させるようにしています。ご家庭でも、お子さんの成長を認め、褒め、励ます機会をたくさん設けるようお願いいたします。</p> <p>・『傍で見てて注意しなければ、やってる子と同じだよ』と言う伝え方はどうかな？と思ったこともありました。別の言い方があったのではないかと思います。</p> <p>◇ ご指摘の件について、どのような場面での言葉であったか定かではありませんが、次のようなケースが考えられます。</p> <p>①いじめにつながる行為があった。</p> <p>②集団生活のルールやマナーから逸脱する行為があった。</p> <p>新潟市教育委員会作成の「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック」には、いじめの被害者・加害者への支援・指導とともに、いじめ監修・傍観者への支援・指導の必要性について、次のように書かれており、学校でもそれに基づいた指導を行っています。</p> <p>◇ はやし立てたり、見て見ぬふりをしたりする行為も、いじめ行為と同じであることを理解させる。</p> <p>◇ いじめをやめさせる、いじめを知らせる、話を聞く勇気をもたせる。</p> <p>また、学校では「自分に関係ない」「自分さえよければよい」という姿勢ではなく、他者に関心をもち、学級で起こったことを自分ごととして捉え、よりよい学級集団にするために考え、主体的に行動する姿を目指して教育活動を行っています。そのような意図から出た言葉であったと推察されます。ただし、そうであったとしても、指導場面での言葉は、子どもたちの指導の意味が伝わるように、誤解がないように吟味する必要があると思います。例えば「やっている子とどのように同じなのか」を分かりやすく伝えるなどです。ご指摘のあった点については指導のあり方を見直す材料とし、今後も子ども一人一人の「成長を促す指導」に努めてまいります。</p>
<p>学習指導 家庭学習</p>	<p>・夏休みに希望者に特別学習があるとありがたいです。</p> <p>◇ 夏休みは長期休業期間にしかできない学習・体験をするための期間となります。また、そのために原則、家庭で過ごす期間となります。また夏休み期間中は職員研修等で手薄となるため、登下校の安全管理、出欠の確認など児童の安全に関することが手薄になります。このような理由から、夏休み中に登校して特別学習を行うのは難しいです。</p> <p>◇ 夏休みの意義は、心身の休養、通常の学校生活では経験できない生活や活動を通じた学び、自主・自律の態度の育成にあります。学校のカリキュラムに縛られず、自分の興味関心に基づいて自主的な学習や体験活動に没頭し、個性を伸ばす貴重な機会です。学校で準備した課題を活用しながら、ご家庭で学習計画を立て、進捗状況を管理しながら学習を進めていただければと思います。「確かな学力」は、学校の授業だけでなく、ご家庭での学習環境の整備や学習意欲を高める働き掛けなど、家庭の教育力により身に付くものと考えられます。</p> <p>また、昨今の猛暑により登下校中の熱中症の危険性や事件・事故に巻き込まれる可能性が懸念されています。さらに、長期休業中には学校内外の職員研修や会議が多く設定されており、対応できる教職員がそろわないという学校事情があるため、夏休みに「特別学習」の機会を設けることは難しいのが現状です。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

	<p>・防災についての学習</p> <p>◇ 各当校では年間4回の避難訓練と6月の地震対応訓練(新潟市一斉訓練)に合わせた防災学習を実施しています。ただし、子どもたちが学校外(地域・家庭)にいるときに発災した場合や地域との連携に課題があります。学校が主体となって地域防災を行うのはマンパワーや予算の面で難しいですが、地域主体の防災訓練等に協力しながら、子どもたちの防災教育(学習)を充実させていくことは可能であると考えています。ぜひ、地域の皆様のご協力をお願いします。</p>
<p>学校行事</p>	<p>・文化祭前の灯籠作りが負担。学校や地域で取り組める場があると良い。</p> <p>◇ 「灯籠作り」は、今から153年前の曾根小学校開校に深く関わった「校祖」新保正興先生の遺徳を偲び、その教えに触れ、「愛校心」や「地域とのつながり」「地域の伝統と誇り」を感じることができる大切な行事です。</p> <p>時代の変化に伴い、従来の方法での実施は難しくなりましたが、かつては、曾根神社境内の天満宮に灯籠を飾るなど、盛大に行事が行われていました。学教行事というよりは、むしろ「校祖会」や「曾根神社」と連携して行われてきた、この地域特有の伝統行事であるといえます。</p> <p>多忙化する現代において、「多忙化の解消」「負担の軽減」の視点はとても大切ですが、子どもたちの心を育てる、真に価値ある活動・経験は、大切に受け継いでいきたいと思えます。</p> <p>曾根小学校は地域の大切な学校です。地域住民として曾根小学校の成り立ちに思いを馳せながら、ご家庭での「灯籠作り」にご協力いただければと思います。お仕事などでご多用のところ、ご負担をおかけし恐縮ですが、ご協力いただけますようお願いいたします。</p>
<p>教育課程</p>	<p>・年度末のことですが、次年度の年間行事がもう少し早くわかると大変ありがたいです。</p> <p>◇ 次年度の学校行事計画は、12月には案ができていますが、対外的な行事等の関係で、2月以降に行事日(参観日、個別懇談)や長期休業の開始・終了日等が変更になる場合があります。早めにお知らせすることも可能ですが、その場合は暫定版となり、行事の期日変更の可能性もあることを御了承ください。</p>
<p>施設・設備</p>	<p>・日々の授業や行事を楽しみに過ごしているようです。いつもありがとうございます。水筒で不便はありませんが、学校で水道水が飲めるようになるとより安心だと感じます。</p> <p>◇ 日頃から水筒を持たせていただきありがとうございます。当校は、校舎の築年数がかなり経過しており、水道設備(水道管=鉄管)も古いです。飲用可能ですが、人によっては鉄臭さを強く感じる場合があります。今後も引き続き水道施設の改修について、行政に要望を出していきますが、改修完了までは、水筒の持参の御協力をお願いいたします。</p>
<p>家庭・地域との連携</p>	<p>・保護者会で担任の先生から学校での子供の様子が聞けるというより子供単体での様子しか聞けませんでした。(こちら聞けばよかったのかもしれませんが。)その割合も2割ほどが良い所、他はあまり良くできていないことを言われ、若干落ち込んで帰宅しました。</p> <p>◇ 個別懇談会は、学校での指導や支援の仕方について情報共有を図ることを目的に実施しています。おひとり10分程度と短い時間のため、お伝えする内容は、日頃の学習・生活の様子と今後の課題・改善点中心になります。保護者の方がお聞きになりたい内容と担任が伝える内容にずれが生じる場合もあるかと存じます。次回より、申込用紙に「お聞きになりたい内容」「取り上げてほしい話題」等をご記入いただけるようにいたしますので、ぜひご活用ください。</p>
<p>その他</p>	<p>・目まぐるしく変わる社会で教育や常識を教えることは非常に難しいと感じています。また、社会の制約も時代に合わなくなっている中で、誠実に対応をいただいていると思っています。いつもありがとうございます。そんな中で、最近では30度を超える日は当たり前になってきました。正直、熱中症などが非常に心配です。水、お茶だけでなく、経口補水液的なものを持ち込めるようになると親としては安心できると思っています。ぜひ検討のほど、よろしくをお願いします。</p> <p>◇ ご提案ありがとうございます。おっしゃるとおり、近年の夏の暑さは、危険なレベルになってきております。熱中症対策として、日常的な水分補給は重要であり、当校でも水筒持参をお願いしております。ご提案のあった、経口補水液は、塩分(ナトリウム、カリウム等)が高濃度のため、日常飲用には適さないものです。現在、熱中症発症の疑いがある場合使用するために保健室に常備しております。また、スポーツドリンクはアルカリ性のため、金属製水筒の金属成分が溶け出す可能性が指摘されており、推奨されておりません。現在学校では激しい運動や炎天下での作業を伴う実習等は行わないようにしており、水筒の水かお茶での水分補給で十分です。もし、心配という場合は、水かお茶に少量の食塩を入れることで、塩分補給が可能です。ご検討ください。</p> <p>・子供が年々減少し、学校としての活動も過渡期だと思いますが、小さい地域なりの良さも活かしていただけたらと思います。</p> <p>◇ ご指摘の通り、児童数は減少傾向にあり、今後も大きく増加する見込みはありません。児童数が多かった時代にやっていた行事を継続するのは、マンパワーの面からも難しいです。逆に、小規模化が進むと「小回りが利きやすい」「児童を個別に見取りやすい」などの利点があります。地域と連携しながら利点を生かした教育活動を展開していきます。</p>

